

金融市場NOW

景気減速懸念が燻るなかでも生成AIの開発競争が激化

リーマン・ショック後の景気後退局面でのハイテク株の値動きは？

- ▶ “チャットGPT” など生成AIをめぐる企業の開発競争は激化。関連企業の株価は上昇基調で推移。
- ▶ 米国の利上げ停止が意識されるなか、米国株は強弱入り混じる経済指標を見極めながら方向感を探る展開に。リーマン・ショック後のハイテク企業は、成長期待が上昇を後押し。

企業が開発競争を繰り広げる生成AI

● インフレ抑制のため各国金融当局が金融引き締め動き、米国でも金融引き締めによる景気減速懸念が燻るなか、メディアでは連日のように“チャットGPT”をはじめとする生成AI(画像など、さまざまなコンテンツの生成が可能な人工知能)に関する報道がなされています。生成AIに関する報道を受け、関連企業の株価は反応しており(図表1)、市場の関心や期待の高さがうかがえます。生成AIに関しては、近年、各企業が開発競争が激化しており、ソフトウェアを中心としたハイテク企業のみならず、製造業への応用の可能性を模索する動きもみられます。

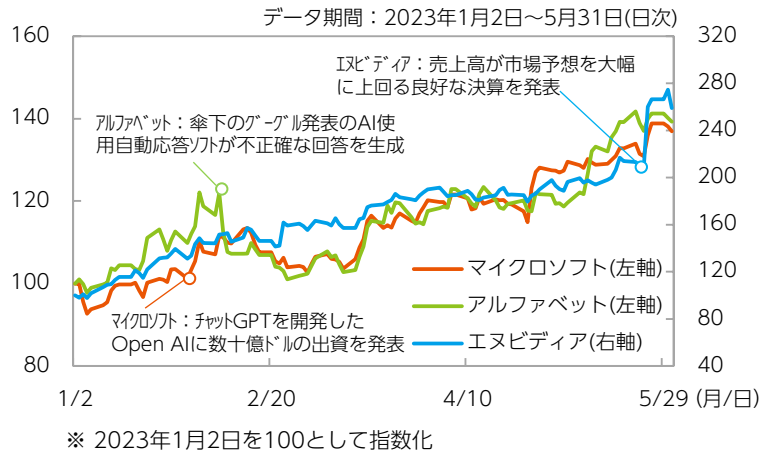
市場は2023年後半の利下げを織り込む

● FRB(米連邦準備制度理事会)は、5月FOMC(米連邦公開市場委員会)において0.25%の利上げを決定し、今後の利上げ休止を示唆しました。市場では緩やかな米景気減速を想定し、2023年後半以降、FRBが利下げに転じるとの見方が大勢を占めています。なお、一部では信用不安が金融危機に発展し、大幅な景気後退に陥ることも懸念されています。2023年4月以降の米国株式市場は、強弱入り混じる米経済指標を受け、方向感を探る展開が続いています(図表2)。

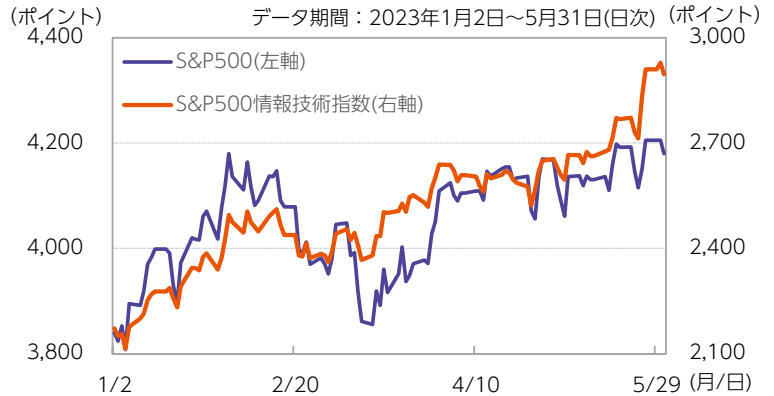
リーマン・ショック後のハイテク株の値動きは？

● 世界的な金融危機の引き金となったリーマン・ショックが起きた2008年当時に上場していたエヌビディア、マイクロソフト、グーグルの株価の値動きは、それぞればらつきはあるものの、米国株式市場(S&P500)と同様に下落した後、大幅に上昇しました(図表3)。ハイテク企業は成長期待が株価上昇を後押ししたと思われる。2008年当時と現在とは、相場環境の違いなどもあることから、必ずしもリーマン・ショック時と同様の値動きとなるとは言えないかもしれませんが、生成AIが単なるソフトウェアにとどまらず、幅広い産業で導入の可能性を探られていることなどを鑑みると、景気後退が意識される局面においても、株式市場では明るい材料の1つとして捉えられることが期待され、今後も生成AIの動向は、株式市場で益々材料視されていくものと思われる。

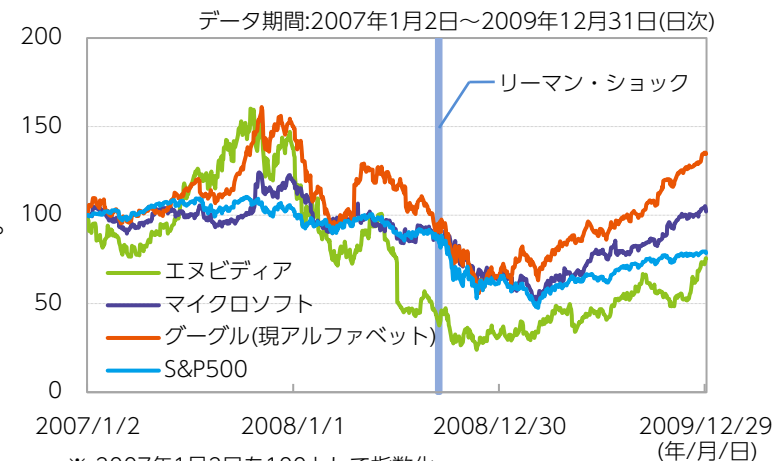
図表1：生成AI関連銘柄 株価の推移



図表2：直近の米国株とハイテク株の推移



図表3：リーマン・ショック時のハイテク株の推移



出所) 図表1～3はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

* 当レポートは個別銘柄の売買を推奨するものではありません。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>